

東 久延 議員



(二括質問方式)

- ① 水族館誘致
- ② 定住促進
- ③ キウイフルーツの輸入花粉

水族館誘致について

問 今年1月28日、松山商工会議所など3団体から、水族館を道後地区やその周辺部に建設することについて要望書を松山市に提出され、松山市は来年度予算案に調査費用を盛り込み、検討すると報道があった。県立長浜高等学校の水族館部の活動、活躍は皆さん御承知のとおりである。現在、長浜応援プロジェクトとして、「高校と町の夢のコラボレーショ

長浜港周辺の様子



ン、水族館復活を目指して」推進活動をされており、長浜地域の団体でも長浜水族館復活に関する要望について趣意書、署名活動をされている。そこで、長浜に県立水族館を建設することについて、市として県に要望していただきたい。

答 水族館は、地元地域はもとより本市への観光客の誘致、地域経済の活性化に有効と考えられますが、その規模や事業主体また運営方法、事業効果、それと都市部の水族館との違い、こういうものを明確にすることが非常に重要だと考えています。そういうこと

を十分考えながら調査、検討し、持続可能な取り組みとして進めていく必要があると考えています。

定住促進について

問 洲本市では、人口減少対策として平成25年5月より定住促進事業「おかえりなさいプロジェクト」を開始され、市外在住者を対象にした定住促進補助金など、定住人口の増加を図られている。

本市とは現状、環境など異なるが、人口減少、少子・高齢化が進んでおり、取り組むべき問題である。ふるさと大洲の魅力を市内外に発信し、大洲市に住んでみたい、またはUターンをしたいと思っておられる方が大洲市に定住できるように、これからの施策、市の考え方について伺いたい。

答 今月中に策定するまち・ひと・しごと創生総合戦略においても、ワンストップ相談窓口の設置や空き家バンクの創設、総合的な移住・定住の支援などに取り組むこととしており、必要な情報の収集や提供方法等の検討を行い、その制度設計に取り組む考えです。

平成28年度においては、第3子以降における保育料の無料化、病

児保育の実施、低所得者の結婚、新生活支援や特定不妊治療費の助成などに取り組んでいきたいと考えています。

キウイフルーツの輸入花粉について

問 今後、輸入花粉の安定的な輸入は難しく、自家製の花粉をつくって確保する必要があるが、近年、キウイ農家も高齢化が進み、後継者もなかなかおらず、また、雌木のキウイの花が咲いていない3日間、キウイフルーツづくりを諦める方や栽培面積を小さくされる農家の方が出てくるのではないかと心配されている。そこで、輸入花粉に対して価格の補助はできないのか。

答 キウイフルーツに限らず農産物生産のための支援策はいろいろありますが、一時的な輸入価格の高騰に対して助成するというのは、他の農産品目との整合性が図れないこと、あるいは輸入花粉以外の方法ということでは自主的に工夫されている生産者がおられることなどの点から、花粉購入に対する補助は現時点では考えておりません。